

## 第3回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成28年12月21日(水) 午後2時30分～午後5時
- 会 場 勤労者総合福祉センター(クリエート村上)2階 第2会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 8名 (欠席:田宮委員・佐藤(昌)委員)  
総務課長、総務課参事、人事管理室 3名

(午後2時30分 開会)

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

会長

今回は、第3回目の委員会で答申を予定しています。

前回のヒアリングの内容を踏まえて、答申内容を協議していただきます。皆様方のご意見を平成29年度の市政に反映させていただければと考えていますので、慎重審議をよろしく申し上げます。

### 3 スケジュール確認

### 4 協 議

(1) 村上市行政評価制度における外部評価(答申)について【資料No.1】

【資料No.1】について事務局説明

(地域おこし推進事業経費)

委員

隊員の活動費について、国庫補助金だけで優秀な人材が集まるとは思えないので、意見欄に「財政措置の拡充を望みます」と追加して頂きたい。

→了 承

(空家等の適正管理に対する助言、指導等)

委員

意見欄に「危険空き家の宅地に対する増税」とあるが、「危険空き家の宅地に対する減免の解除」に修正して頂きたい。

→了 承

委員

総合評価の説明欄に「空き家に関する窓口が2課にまたがり分かりにくい」とありますので、意見欄には、そのことに対応したものとして「窓口の明確化を図るため、空き家バンク事業と相談窓口を一本化してほしい」との意見としたい。

→了 承

## 5 意見交換

### (1) ごみ・危険物等の収集（環境課）【資料No.2】

【資料No.2】について、環境課による事業説明・評価理由説明

委員

旧市町村ごとにごみの出し方や収集方法が違うため不公平である。たとえば、旧村上地域では、びん・缶・有害ごみは、2～3ヶ月に1回だけ日曜日の朝に地域指定の場所で収集があります。その際に当番制でごみ収集場所に地域の方が立っていたり、また、収集場所が遠いため車で持ってくる方もおり、不公平に感じます。いつも出しているごみステーションに他の地域と同じく定期的にごみを出すように統一できないか。

委員

ごみの分別について、一部地域で統一されていない物があるのでご検討いただきたい。（例：アルミ缶・スチール缶の分別等）

また、それに関連して、ごみの排出量が市のHPに掲載されているが、アルミ缶等分別されていない物は、どのように算出しているのですか。

委員

資源ごみに関して、市の収益を見込んでいますか。

環境課長

ごみ収集の回数や方法に関しては、合併前の各市町村で地域の意見を踏まえて検討してきたやり方を合併後も採用して運用しております。現在はそのような状況を踏まえて、統一に向けたごみ収集の回数や方法に関して検討している状況です。

旧村上地域のびん・缶・有害ごみの日曜収集に関しては、数年前に有害ごみの収集を開始した時に、平日回収について計画し地域住民に説明したところ、その時は、日曜収集が地域に定着しているという理由から見合わせた経緯がありました。今後については、地域の意向を踏まえ柔軟に対応を検討していきたい。

また、資源ごみに関して、一般会計収入の雑入として収益を見込んでいます。

環境課

ごみの排出量に関しては、処理施設から毎月種類ごとに報告をいただいております。

委員

村上地域のびん・缶・有害ごみの日曜収集に関しては、若い世代や年寄り世帯からゴミを出しづらくなってきた等の意見がありましたので、アンケートなどで地域住民の意向を調査して頂きたい。

環境課長

今後、区長会等の意見も含めて調査を実施したい。

委員

資源ごみについては、市の財源になっていることを広報等によりアピールすることで、大型量販店等ではなく市のごみ捨て場に出す市民も増えて目標達成に近づくとおもうので参考にして頂きたい。

#### 委員

今後、ごみの出し方や収集方法の1本化を検討していくうえで、住民の利便性のみを追求するのではなく、行政のスリム化を考えしっかりと試算しコスト削減とのバランスを考慮してより良い提案をし住民に理解をして頂くことも重要と考えます。

#### 委員

事務事業評価シートのごみの収集量及び排出量について、目標値は減少しているが見込みは増加していることから、数値の見直しを行った方が良いのではないのでしょうか。

#### 環境課

目標値については、現実的な数値と少し乖離しているが、一般廃棄物の基本計画書に基づいて策定しております。なお、平成28年度のごみ排出量の見込みについては、9月末時点の数値を2倍したのですが、実際には冬期間減少傾向にあることから、平成27年度の実績値よりも減少する見通しです。

#### 委員

市民が資源ごみを地域のごみステーションではなく大型量販店等に出すことは、市の立場としてはどうなんですか。

#### 環境課

市としては、すべての資源ごみを収集することは難しいので、大型量販店等で回収して頂いているのは大変ありがたいことです。また、市民としてもごみの収集場所がたくさんある方が利用しやすく、結果的にリサイクル率向上に繋がると考えられます。

#### 会長

ごみの排出量等は減少しても事業費は同額計上しなければいけませんか。

#### 環境課

ごみ回収の委託契約については、全てのごみステーションに回収に行くことになっていますので、ごみが減少しても委託金額は変わりません。このため、多少の増減はあると思いますが、前年度の同額を事業費に計上しております。

#### 委員

ごみの収集について、行政が関与しなければいけない部分と、ある程度は民間に任せてもいい部分があると思うので、根本的に検討をしてみる必要があると思います。例えば、資源ごみの収集については、民間業者と協議して民間主導で行えないか検討してみてもどうか。

#### 委員

ごみ袋のスペースを利用して、広告宣伝の募集を行ってはどうか。

#### 環境課

以前検討し他市の状況を調査したところ、載せたい企業がいなくて対応に苦慮しているとのことでした。理由としては、印刷の判代など初期投資が大きい割にごみ袋ということもあり宣伝効果が低いからようです。このような理由から当市では導入を見送りました。

【質疑応答終了】

(2) 子育て支援センター・子育てサポート推進事業（福祉課）【資料No.3】

【資料No.3】について、福祉課による事業説明・評価理由説明

委員

冬場に1歳から3歳頃までの子供たちの遊べる場所が少ないこと等から、子育て支援センターを土曜日・日曜日についても開設することはできないか。

福祉課

市長とのふれあいトークでも、若い世代のお母様方から、土日に遊ぶところが無いといった意見が多数ありました。村上市として大型レジャー施設をすぐに建設することは難しいですが、今後検討していかなければならないと思います。現状としては、一部地域で行っております子育て支援センターの土曜日拡充により、少しでも多くの方に利用して頂きたいと考えております。

委員

子育て支援センターでは、相談業務を行っていると思いますが、どのような内容が多いですか。

福祉課

離乳食の食べさせ方やおむつの取替、夜泣き等について多く相談があります。また、少し年齢が高くなると友達との関わりについて等もありました。

委員

子育てに関する情報を広報等で発信したり、時代・地域・ニーズにあった取り組みを実施し、また、どの世代にもきめ細やかな対応が必要だと思いますので、保護者の悩みをすぐ聞くことができるような体制づくりをして頂きたい。

福祉課

乳幼児だけでなく、小学校・中学校とも連携した子育て支援が必要だと思いますので、柔軟に互いに協力をしながら切れ目のない子育て支援を行っていききたい。

委員

子育て支援センターを日曜日に開設できない理由はなんですか。

福祉課

現状の保育士の人数では対応が難しいため、今後については、指定管理者制度を利用して柔軟な対応をすることも含めて検討していきたい。

委員

指定管理者制度により民間業者が運営することで利益を追求すると、逆に土曜日・日曜日の拡充がされにくくなる懸念があるので、そのことについて充分考慮し検討して頂きたい。また、現場のニーズにあった取り組みが行われるようにご検討頂きたい。

委員

子育て支援センターを開設する際に必要な保育士の人数は決まっていますか。

福祉課

施設の利用人数に関係なく各施設2人以上必要ですので、最低2名配置しております。

委員

ボランティアの関わりはありますか。

福祉課

常にお願ひしているボランティアの方はおりません。

委員

子育て支援センターに関して、ボランティアを募集し民間の力を導入することにより弾力的な運営を行うことはできないか検討していただきたい。

会長

民間で子育て支援を行っている団体は把握していますか。また、その団体に関しての補助金等がありますか。

福祉課

把握している団体は、村上 ohana ネットや子育てサークルSSキッズ等があります。補助金に関しては、「出前託児事業補助金」がありますが、これは親子で出かけやすい環境づくりに寄与し、リフレッシュにより家庭育児の負担軽減と社会参加の促進等を図るため、講演会等の催しを開催する事業者に対し、開催時の託児協力者謝礼金相当額について交付しているものです。これ以外の内容で子育てに関する子育て支援団体への補助金はありません。

委員

子育て支援を必要としている世帯を対象に、「どのようなことが必要か」等のアンケートを実施したことはありますか。

福祉課

子ども・子育て支援事業計画、村上市次世代育成支援行動計画を策定するに当たって、平成25年度保育ニーズについてアンケート調査を実施しています。

委員

若い世代からは、近くに子供たちと気軽に集まれる場所がないというような意見が多く聞かれます。今後については、特に若い世代のニーズを把握するためにアンケート等を実施し、将来を見据えた長期的な展望で事業を進めて頂きたい。

委員

可能であれば、公共の空き施設を利用して遊びの場等を提供することについてご検討頂きたい。

## 福祉課

山辺里の子育て支援センターで増改築工事を実施するに当たってその間は施設を利用できないため、今年度から休園となった旧上海府保育園を子育て支援センターとして利用しました。増改築工事終了後には山辺里子育て支援センターに戻りますが、アンケートを実施したら大変好評であったため、来年度以降も上海府施設を子育て支援センターとして利用していくことについて検討中であり、今後その他の空き施設についても有効に利用していけるように検討していきたい。

### 【質疑応答終了】

## 6 答 申

(会長より副市長へ答申)

### 副市長

今日は長時間に及び慎重審議をして頂きましてありがとうございました。皆様方におかれましては、大変お忙しい中、我々の行政改革の推進のために御力添えを賜りありがとうございます。任期2年の1年目ということで、来年度についても引き続きよろしく願いいたします。

今ほど答申を頂きました「地域おこし推進事業経費」についてですが、ご提案のように私自身も「具体的な活動の姿が広く市民の方々に知れ渡っていないのではないか」「協力隊員は、それぞれ目的を持って地域課題を背負って活動を担って頂いているがその成果の評価方法が少し曖昧な点があるのではないか」などの感想を持っております。このような点については、担当課に伝え改善を図ると共に、来年度は新たに4人の協力隊員を増員し、これまでよりも明確な活動内容を示し、それらにあった人選を行っていきます。また、協力隊員に任せっきりにならず行政も深く関与しながら地域の住民の方々とも協力しあって事業を進めていきたいと考えております。

次に「空家等の適正管理に対する助言、指導等」についてであります。ご指摘頂いておりますように、市内に多くある空家の実態がどうなっているのか不明確な部分が多いということで、来年度予算案に実態調査費を計上しております。この調査結果を基に空家対策を進め、また、危険空家があった場合の対策についても検討していかなければならないと考えております。

いずれの場合についても、今回皆様方から頂いた答申に基づきながら市としても充分に対応を図っていきたくと考えておりますので、引き続きご理解ご協力を賜りたいと存じます。

なお、年末年始を迎えるに当たって、体調に留意して頂いて良いお年をお迎え頂きますように合わせてお話を申し上げたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

## 7 その他

## 8 閉 会 (午後5:00閉会)